

環境経営レポート

2022年度

対象期間 2022年6月～2023年5月)



発行日 2023年 6月 30日

エイコー電機株式会社

1. 環境経営方針

1. 基本理念

エイコー電機株式会社は、当社の電源組立、ハーネス・ケーブル加工等の事業活動が、地域ならびに地球環境に与える影響を常に考慮し、環境経営システムの継続的な活動および改善を積極的に行い、持続可能な社会の構築に貢献します。

2. 活動指針

1) 具体的に次のことに取り組みます。

- 二酸化炭素排出量の削減
 - 電気使用量の削減
 - 化石燃料使用量の削減
- 廃棄物排出量の削減
廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再生利用）を推進
- 水使用量の削減
- 化学物資使用量の把握および適正管理
- 不良件数の低減

2) 環境に関する法律、規則、協定を遵守いたします。

3) 従業員に対し、環境教育を実施し、環境保全に関する意識の向上を図ります。

4) 地域社会と積極的にコミュニケーションを図り、地域に密着した事業活動を行い、地域の環境保全に努めます。

5) この環境方針を全従業員に周知徹底させるとともに、一般の方にも公表します。

2010年 9月 1日制定
2022年 10月 24日改訂

エイコー電機株式会社
代表取締役 浅田 耕三

2. 組織の概要

事業所および代表者

エイコー電機株式会社

代表取締役 浅田 耕三

所在地

〒671-2102

兵庫県姫路市夢前町新庄155-3

<http://www.eiko-electric.co.jp/>

環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先

副社長兼生産管理部長 前川 義明

品質保証部 山田 英里

TEL 079-336-2077

FAX 079-336-3157

e-mail y.maekawa@eiko-electric.co.jp

事業内容

電源装置組立、ハーネス・ケーブル製作、制御装置設計・製作、
プリント基板設計・製作

事業規模

資本金 1000万円

売上高 百万円（2022年度）

面積 敷地 4,950 m² 工場延べ面積 2,283 m²

従業員数 45名

設立 1976年 6月

| 活動規模 | 単位 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|------|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 百万円 | 412 | 372 | 508 | 663 |
| 従業員 | 人 | 48 | 46 | 45 | 45 |
| 床面積 | m ² | 2,283 | 2,283 | 2,283 | 2,283 |

事業年度：6月～翌年5月

□認証・登録範囲

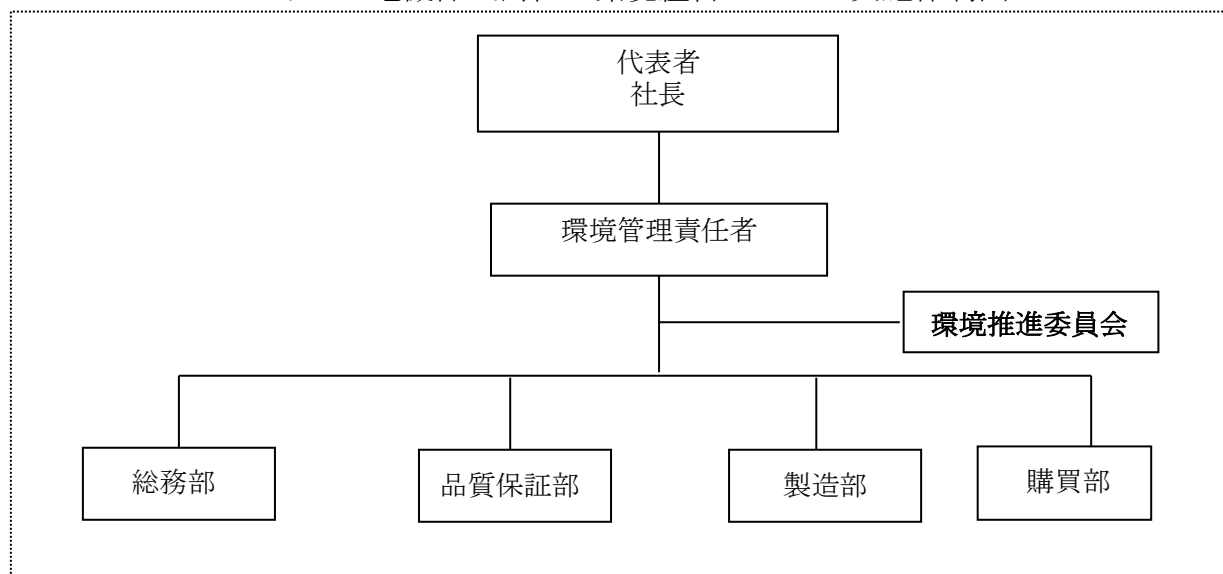
登録組織名：エイコー電機株式会社

対象事業所：本社

対象外：なし

活動：電源装置組立、ハーネス・ケーブル製作、制御装置設計・製作、
プリント基板設計・製作

エイコー電機株式会社 環境経営システム実施体制図



| | 役割・責任・権限 |
|---------|---|
| 代表者（社長） | <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用を用意 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営計画表の承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標の設定 ・「環境関連法規制等リスト」の取りまとめ、および自己チェック ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの作成 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・外部からの苦情、要望の受付 |
| 部門長 | <ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門に従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書の承認 ・緊急事態への対応のための手順書の承認 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置 |
| 環境推進委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・代表者・管理責任者・事務局・各部門代表者で構成。管理責任者が召集する ・環境経営目標の設定、環境経営計画表の策定および進捗状況について確認、記録する ・緊急事態の対応策の決定 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・緊急事態への対応のための手順書作成、訓練・記録 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全への意識向上 ・環境経営の取組への積極的な参加 |

3. 環境経営目標及びその実績

(1) 環境負荷項目

| | 2019年度 実績 | 2020年度 実績 | 2020年度 実績 | 2022年度 実績 |
|--------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1) 電力 kWh | 85,206 | 92,221 | 98,258 | 99,155 |
| 2) 自動車燃料 L | 1,995 | 2,272 | 1,687 | 2,553 |
| 3) 灯油 L | 6,056 | 6,690 | 6,766 | 7,000 |
| 二酸化炭素 kg-CO ₂ | 61,359 | 67,024 | 68,996 | 72,153 |
| 水使用量 m ³ | 440 | 442 | 464 | 472 |
| 廃棄物排出量 一廃 t | 3.33 | 3.19 | 4.07 | 3.46 |
| 産廃 t | 2.73 | 3.07 | 3.89 | 3.45 |
| リサイクル率 | 84.5 | 68.1 | 86.8 | 77.7 |

※二酸化炭素排出係数 0.489kg-CO₂/kWh (リコージャパン(株)2019年度調整後係数)

※自動車燃料の2022年度実績には、ガソリン1761.5Lと軽油881.6Lが含まれますが、二酸化炭素排出係数を考慮して加算しています。計算式は、自動車燃料=ガソリン使用量+軽油使用量*1.11です。

※2022年度における水使用量の内訳は、地下水399m³(65.4%)及び上水211m³(34.6%)です。

(2) 2021年度以降の環境経営目標

| 環境経営目標 | 単位 | 基準年度 2017年度 | 2021年度 目標 | 2022年度 目標 | 2023年度 目標 | 2024年度 目標 |
|-----------------|--------------------|----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 二酸化炭素 排出量の削減 | kg-CO ₂ | 67,799 | 65,087 ▲ 4.0% | 64,409 ▲ 5.0% | 63,731 ▲ 6.0% | 63,053 ▲ 7.0% |
| ●電力 | kWh | 102,673 | 98,566 | 97,539 | 96,513 | 95,485 |
| ●灯油 | L | 4,678 | 4,490 | 4,444 | 4,397 | 4,351 |
| ●自動車燃料 | L | 2,562 | 2,459 | 2,434 | 2,408 | 2,382 |
| 産業廃棄物のリサイクル率向上 | | | | | | |
| ●リサイクル率 | % | 78.7% | 80.5% | 81.0% | 81.5% | 82.0% |
| 一般廃棄物の適正処理 | | 適正処理 | 適正処理 | 適正処理 | 適正処理 | 適正処理 |
| 水使用量の削減 | m ³ | 509 | 489 | 484 | 478 | 473 |
| ●化学物質の適正管理 | | 化学物質使用量の把握と管理 | 化学物質使用量の把握と管理 | 化学物質使用量の把握と管理 | 化学物質使用量の把握と管理 | 化学物質使用量の把握と管理 |
| ●工程内不良の低減 | 件 | 57 | 36 | 36 | 36 | 36 |

※工程内不良の目標を36件とした理由は、月3件以内としたためです。

4. 環境経営計画の内容

1) 数値目標を達成するための取組

(1) 二酸化炭素排出量の削減

① 電気使用量の削減

- ・ エアコンの温度設定を決め実行する。(夏季：26℃ 冬季：20℃)
- ・ 電力のデマンド管理
- ・ 夏季、工場屋根の冷却用にスプリンクラーで散水（地下水使用）
- ・ 長時間使用しない設備の電源を切る。

② ガソリン使用量の削減

- ・ 駐停車の際のアイドリングストップ、燃費管理
- ・ 工程管理による出荷回数の低減
- ・ 法定速度の遵守

③ 灯油使用量の削減

- ・ 室内の適正な温度管理
- ・ 暖房器具の点検、更新

(2) 廃棄物排出量の削減

① 一般廃棄物

- ・ コピー用紙の裏面使用、電子化によるペーパーレス化の推進
- ・ 分別による古紙のリサイクル

② 産業廃棄物

- ・ 分別による廃棄物の種類と排出量の把握、リサイクル率向上への活動
- ・ 最終処分量の削減（混合廃棄物の細分別化推進）

(3) 水使用量の削減

- ・ 漏水の定期点検
- ・ 啓発活動（掲示物）

(4) 化学物質の管理

- ・ 使用量の把握・適正な管理・保管

(5) 工程内不良の低減

- ・ ポカミスの削減（印字方法、記載漏れ・記載ミス、組立手順見直し）

2) その他の取組

- ・ 従業員への教育訓練
- ・ 工場周辺の美化活動

5 取組の結果と評価及び今後の方向

(1) 2022 年度における取組の結果と評価及び今後の方向

| 環境経営目標 | 目標・実績・達成率 | 評価及び次年度の環境経営計画 |
|--|--|--|
| 二酸化炭素排出量 kg-CO ₂ ○電力量 kWh ○灯油 L ○自動車燃料 L | 目標 64,409 → 実績 72,153 達成率 89.2% 評価× 目標 97,539 → 実績 99,155 達成率 98.3% 評価× 目標 4,444 → 実績 7,000 達成率 63.4% 評価× 目標 2,434 → 実績 2,553 達成率 95.3% 評価× | 昨年9月以降の大幅な増産による、稼働時間の増加が影響しました。顧客要求への対応、またキャパオーバーからの工程の混乱も重なり、稼働時間を抑えることは非常に困難な状況でした。 次年度については、工程の状況をより見える化。事前に顧客とも共有し、無理、ムラの無い工程管理を進めてまいります。 |
| 廃棄物 ○一般廃棄物の適正処理 ○産廃のリサイクル率向上 | 目標 適正処理 → 実績 100% 達成率 100% 評価○ 目標 81.0% → 実績 77.7% 達成率 95.9% 評価× 再資源化量 2,680 kg / 総排出量 3,450 kg | 分別に時間が掛かる廃棄物への対応が必要 方法等を検討します。 例；専用置場での第三者による分別の実施 |
| 化学物質の適正管理 | 化学物質使用量の把握と管理 適正に管理する | PRTR 法対象の化学物質（トルエン・三酸化アソチン）について、継続して適正な管理・保管に努める。 |
| 工程内不良の低減 | 目標 36 → 実績 19 達成率 189 % 評価○ | 工程内は減少したが、社外不良が増加している。再発防止策の実施と徹底を監視する。 |
| その他の取組 ・工場内外の定期的美化活動 ・従業員教育の計画的な実施 | ・工場内外の美化活動 年 2 回 周辺の草刈を実施 ・従業員への啓発 | 工場内はもとより、工場周辺も定期的に清掃を実施。周辺住民からの苦情は特にありませんでした。次年度も引き続き実施します。 |
| 水使用量 m ³ | 目標 484.0 実績 610.0 達成率 79.3% 評価× | トイレ水洗用の井戸水が、濁水によりくみ上げ出来なくなり、3 か月間水道水に置き換えたのが影響しました。6 月より井戸水が使用可能となっております。 |

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

① 適用される主な環境関連法規

遵守評価日：2023年5月31日

| 法令・条例・規制 | 要求事項 | 遵守評価 |
|--------------------------------------|-----------------------|------|
| 廃棄物処理法 | 委託契約の締結 | 遵守 |
| | 廃棄物保管基準の順守 | 遵守 |
| | マニフェストの管理、報告、監視 | 遵守 |
| | 委託業者の許可証の写しを保管 | 遵守 |
| 労働安全衛生法 (有機溶剤中毒予防規則) (鉛中毒予防規則) | 作業主任者の選任 | 遵守 |
| | 注意事項や区分の表示、作業教育 | 遵守 |
| | 排気装置の設置 | 遵守 |
| | 作業環境測定の実施 | 遵守 |
| 消防法 | 防火管理者の任命 | 遵守 |
| | 消防用設備等設置 | 遵守 |
| PRTR法 | 化学物質の管理 | 遵守 |
| 改正フロン排出抑制法 | 機器の簡易点検、記録、廃棄時のフロン類回収 | 遵守 |
| 家電リサイクル法 | 家電の廃棄 | 実績なし |

② 違反、訴訟等

環境関連法規等の遵守状況を評価した結果、違反等はありませんでした。

関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

近隣からの苦情や訴訟等もありませんでした。

7. 社長の評価と見直し・指示

| | | | | | |
|----------|--|--------|--------|-------|--------|
| 見直し、指示事項 | <p>昨年は今までにないほどに受注が増え、顧客納期への対応またそれに伴いキャパオーバーが発生し、稼働時間の増加と悪い流れになった時期があり如実に達成率の悪さにつながってしまったことは反省点です。</p> <p>今期については、昨年の反省点をふまえ工程の状況をよりいっそう見える化し、達成率をあげる為の対策をお願いします。</p> <p>加えて、電力消費の低減にも効果があるため古いエアコンの買い替えを検討中です。</p> | | | | |
| 見直しの必要性 | 環境経営方針 | 環境経営目標 | 環境経営計画 | 実施体制 | その他の要素 |
| | □要 ■否 | □要 ■否 | □要 ■否 | □要 ■否 | □要 ■否 |

2023年 6月 29日

代表取締役 浅田 耕三